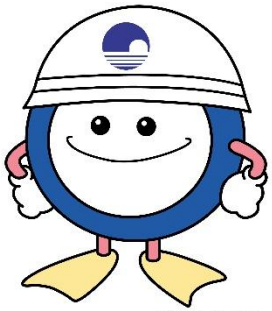
資料②

令和8年度　第1回
行田市下水道事業運営審議会

下水道事業の概要について



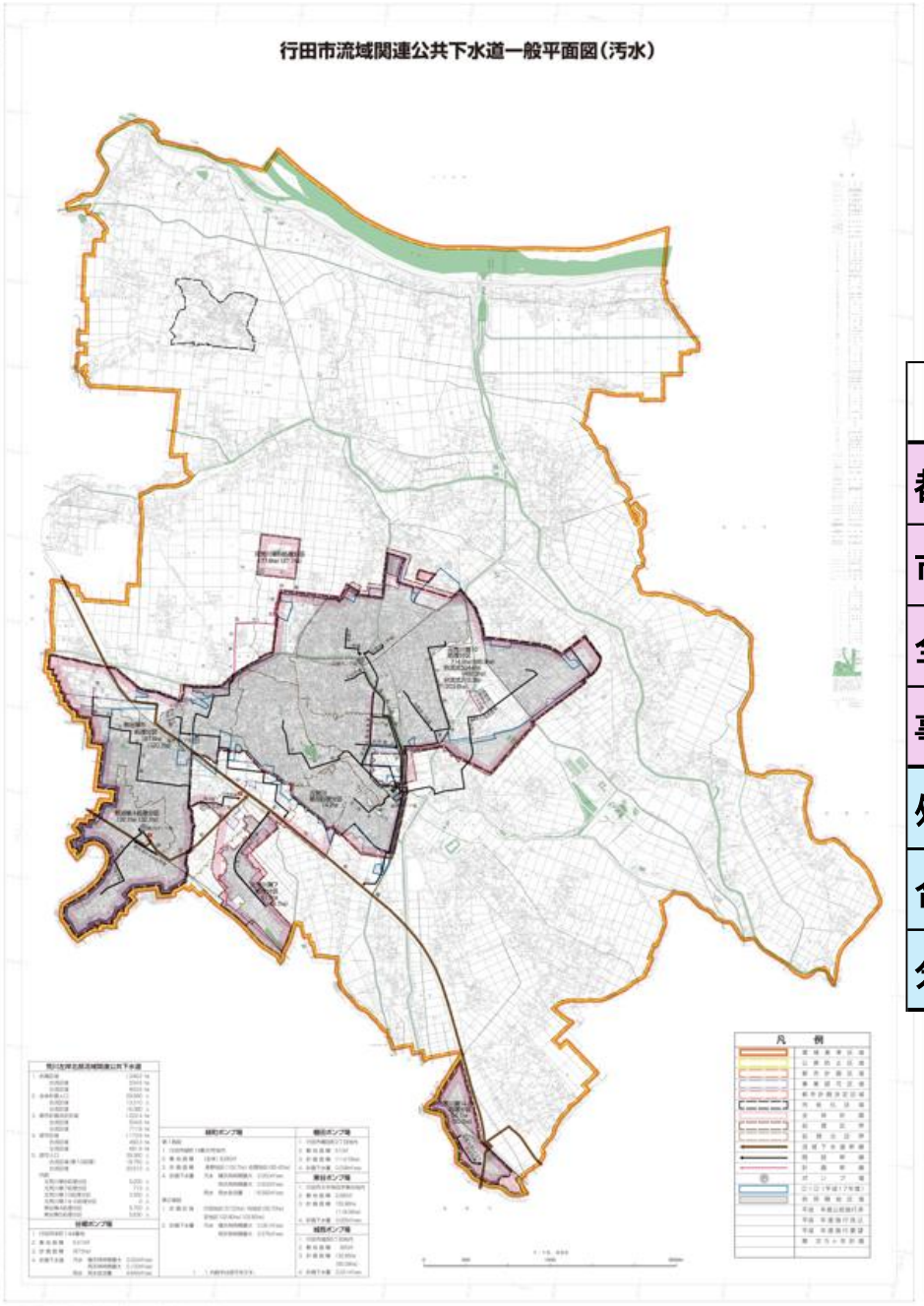


行田市　都市整備部　下水道課

令和８年７月10日（金）

行田市下水道事業の概要等について

- 行田市の下水道について（P2,3）
- 全国特別重点調査について（P4）
- 行田市の調査結果について（P5）
- 長野地区の交通規制について（P6,7）
- 令和８年度　主な工事予定について（P8）



行田市の下水道について

下水道区域の面積

	面積（ha）	割合（%）	摘要
都市計画区域	6,749	100%	
市街化区域	1,168	17%	
全体計画面積	1,348	20%	下水道の計画区域
事業認可区域	1,137	17%	下水道の整備予定
処理区域面積	964	14%	整備済み
合流区域	451	47%	汚水と雨水
分流区域	513	53%	汚水のみ

令和８年３月末現在

行田市の下水道について

下水道区域の人口

	人数（人）	割合（%）	摘要
行政人口	77,139	100%	
処理区域内人口	45,060	58%	普及率
内、合流	23,363	52%	
内、分流	21,697	48%	
水洗化人口	39,850	88%	水洗化率
内、合流	22,365	56%	
内、分流	17,485	44%	

令和８年３月末現在

下水道管の整備延長

	延長（km）	割合（%）	摘要
管路総延長	261	100%	
合流管	139	53%	
分流管	122	47%	

令和８年３月末現在

行田市は昭和25年に下水道の整備を開始

川越市(昭和6年)、川口市(昭和１４年)に次いで県内3番目

管路整備延長２６１kmに対して、布設後５０年を経過する下水道管は今年度で約６８kmに達し、１４年後には約１００kmとなる見込み

全国特別重点調査について

〇令和７年１月２８日に八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると思われる道路陥没事故を受けて、国土交通省は令和７年３月１８日に、「全国の自治体に対して、下水道管路の全国特別重点調査の実施を要請しました。

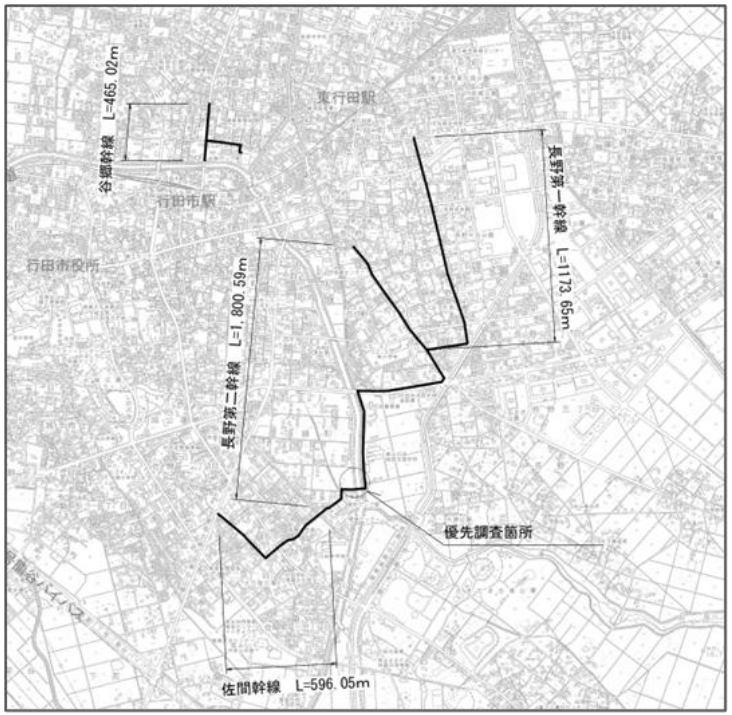
内径2m以上　かつ

- 下水道管の内側の直径が2m以上

1994年度以前に設置

- 平成6年度以前に整備された下水道管路で、設置から30年を経過した管路

行田市では
4,035mが対象



行田市の調査結果について

緊急度Ⅰ：延長187m

原則、1年以内の速やかな対策を実施

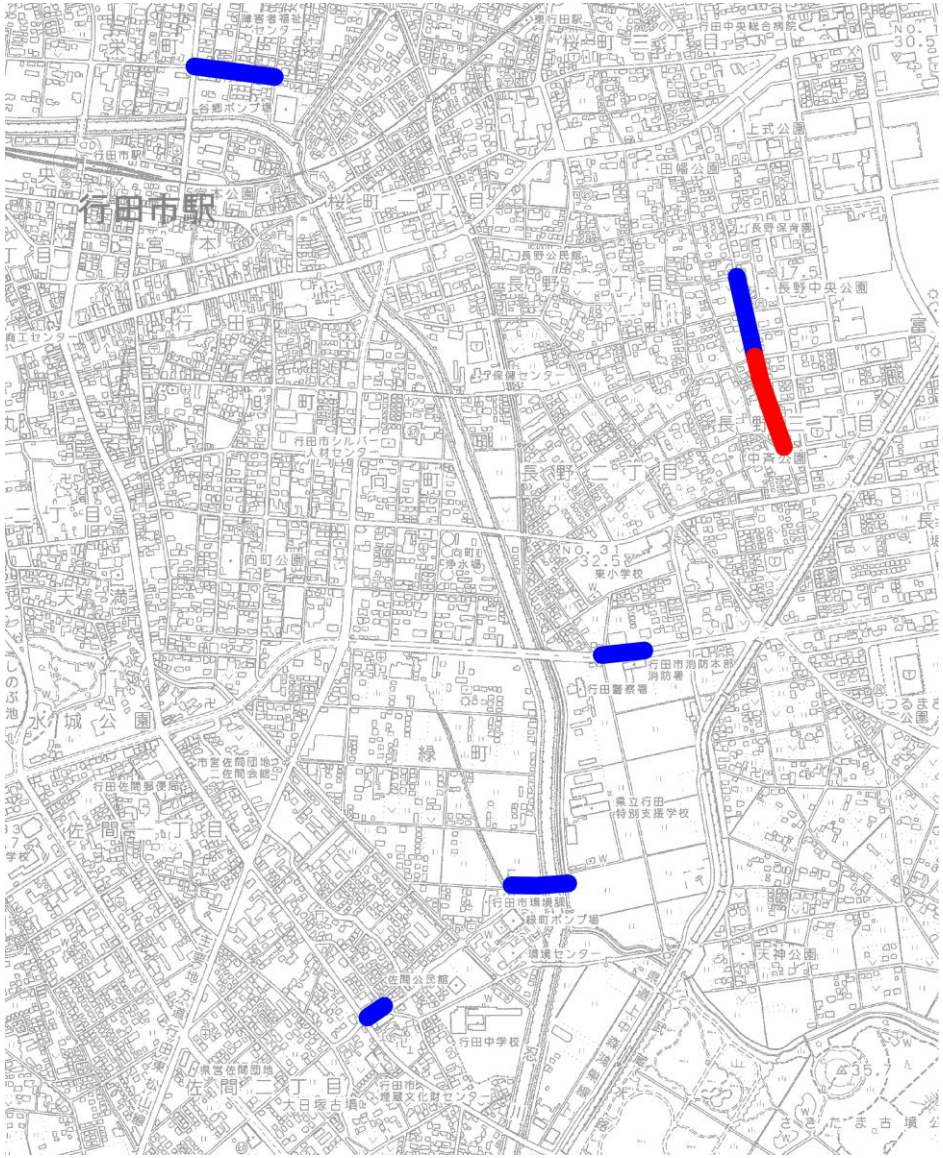
緊急度Ⅱ：延長560m

応急措置の上、5年以内の速やかな対策を実施

令和７年８月２日本市において下水道管路内の清掃作業中に４名もの尊い命が失われた。

現在捜査中であり、原因の特定には至っていないが、酸素欠乏症、硫化水素中毒、転落が原因として考えられている。

現場は、忍川の下に管渠が埋設されている、いわゆる「伏せ越し管」で硫化水素が発生しやすい箇所であり、緑町ポンプ場にほど近い場所である。管は本市最大である、直径2600mm、埋設深さは10mにも達する管路である。



長野地区の交通規制について



緊急度Ⅰ及び緊急度Ⅱと判定された３５０ｍの区間について、下水道管にひび割れが発生していたことから、令和８年１月１８日から、車両の通行止め規制を実施

下水道管本体の変形が確認されたため、令和８年３月７日から、歩行者等を含めた通行止め規制を実施

長野地区の交通規制について

管路改築実施設計業務委託（令和8年3月9日～6月30日）により、既存の下水道管路を使用しつつ、管の内側に新たな管を構築する管更生工事の設計を実施済み

現在、工事の契約に向けて入札事務を進めているところで、早期の工事完了を目指している

長野一丁目、三丁目地内の交通規制状況











令和８年度　主な工事予定について

- **管渠更生工事（長野一丁目、三丁目　延長350m）**

・既存の下水道管の中に、新しい管を構築する工事

- **第10処理分区　汚水枝線工事**

・若小玉地内　県道熊谷羽生線　延長300m

・藤原町一丁目、若小玉地内　南大通線　延長320m

- **第6処理分区　汚水枝線工事**

・持田地内　市道　延長570m

- **谷郷ポンプ場電気設備工事**

・市内に５箇所あるポンプ場の遠隔操作の設備等を整備

- **緑町ポンプ場雨水除塵機レーキ台更新工事**

・雨水に混じったゴミや落葉等の夾雑物を掻き集めて除去する装置の更新